

令和6年度 出雲市戦没者追悼・平和祈念式典

戦没者追悼・平和祈念のことば

本日、ここに出雲市民を代表して、先の大戦においてかけがえのない生命を捧げられました戦没者の方々を偲び、真の恒久平和が実現することを強く願い、誓いのことばを申し上げます。

今日の日本は、終戦直後には想像もできないほどの目覚ましい発展を遂げてまいりました。

現在、私たちが享受している平和と繁栄は、祖国を思い、家族を案じつつ、心ならずも戦場に散っていかれた尊い犠牲の上に築かれたものであり、また、最愛のご家族を失いながらも、その苦しみと戦後の混乱に耐えながら、日本社会を支えてこられたご遺族の皆様のたゆまぬご努力があることを決して忘れてはなりません。

本日、平和を祈念するにあたり、祖国のために亡くなられた戦没者の方々に対し、深く哀悼の意を捧げるとともに、ご遺族の皆様のこれまでのご労苦に対し、心から敬意を表します。

数多の尊い命が失われた先の大戦から、79年もの歳月が過ぎ去り、来年は80年目を迎えます。戦争体験者が少なくなっていく中で、戦争の悲惨さ、そして平和の尊さを、次の世代を担う子どもたちに引き継いでいくことが、今を生きる私たちに課せられた大切な使命であります。

また、今年度は新出雲市が誕生して二十周年という節目を迎えました。先人の方々の歩みに思いを馳せながら、市政を着実に『前へ』進め、英霊がこよなく愛したこの出雲の地の限らない発展のため、全力を尽くすことをお誓い申し上げます。

結びに、戦没者の方々の安らかなご冥福と、ご遺族の皆さまのご平安を心からお祈り申し上げますとともに、本日ご列席の皆さまのご健勝、ご多幸をお祈りし、戦没者追悼・平和祈念のことばといたします。

令和6年8月4日

出雲市長 飯塚俊之